

WE LOVE とよたスペシャルサポーター ヴィトルさん

令和6年11月に、WE LOVE とよたスペシャルサポーターに任命されたヴィトルさん。

私生活では、令和6年8月に双子の男の子が誕生し、現在育児奮闘中！豊田市出身であるヴィトルさんに、双子育児のリアルな日常や仕事と育児の両立、そして多文化共生への想いについてお話を伺いました。

子どもが生まれて、気持ちの変化はありましたか？

これまでの私は、仕事を最優先に考える毎日を送っていましたが、子どもが生まれてからその価値観が大きく変わりました。今では「早く仕事を終えて、家に帰りたい」と心から思うようになり、家庭の時間が何よりも大切なものになりました。

また、世の中のお母さんたちへのリスペクトが増しました。「育児って大変」とは聞いていたけど、想像をはるかに超える大変さで、夫婦で協力する大切さを感じました。

思い出に残るエピソードはありますか？

我が家は次男のリオくんが新しいことをできるようになると、その後に長男のレオくんもできるようになるみたいなことがあります。例えば、リオくんがハイハイできるようになって、その2〜3週間後にレオくんができるようになります。双子ならではのかもしれませんが、2人のいろんな性格を同時に知れて、短い間に子どもの成長を2回見られるのが楽しいです。

子育てをされていて、大変だった出来事がありますか？

子どもが生まれる3か月前に、妻が切迫早産で絶対安静となり、ベッドの上で過ごす日々が始まりました。私たち夫婦はサーフィンで出会ったほどアクティブなタイプなので、動けない妻の姿を見るのは本当に心配で、無事に生まれてくれるだろうかという不安が常にありました。

無事に子どもが生まれた後は、想像以上の大変さでした。仕事を終えて午後8時に帰宅し、そこから午前2時までずっと抱っこ。ご飯も食べられず、ただ子どもをあやす時間が続きました。ミルクは3時間おきですが、飲むのに1時間かかることもあり、ようやく寝たと思ったら、もう1人が泣き出して振り出しに戻る…そんな日々の繰り返しでした。



ヴィトルさんのプロフィール

1989年12月5日ブラジル・サンパウロ生まれ。6歳で来日、7歳から豊田市で育つ。ブラジルと日本にルーツをもつ。

NHKのニュース番組「まるっと！」多文化共生コーナー「ハロー！ネイパーズ」（毎週火曜）でリポーターとして出演中。

パパとしてのこだわりや工夫していることはありますか？

パパとしてのこだわりのひとつが、「ママお休みデー」をつくること。少なくとも月に1〜2回、妻が育児から完全に離れて自由に過ごせる日を設けています。その日は私が育児を全面的に担当。妻は好きなだけ寝ていいし、美容院に行ったり、カフェでのんびりしたり、自分の時間を過ごしてもらいます。

この取り組みを始めたきっかけは、育児の大変さを身をもって感じたこと。毎日子どもに付きっきりの妻に、少しでも身体を休めてもらいたいと思ったからです。

また、私の母は私が小学生の時に離婚し、子育てを優先して自分のやりたいことができませんでした。私の妻は自分のエステ店を持ちたいという夢を持っているので、だからこそ、私はそのための応援したいと思っています。



取材中もおむつ交換やミルクをあげるヴィトルさん

ヴィトルさんの母国であるブラジルの文化や言葉は、お子さんへどのように伝えていきますか？

私の実家に行くときは、家の中ではポルトガル語で話したり、ブラジルの文化を子どもに伝えるようにしています。日本語よりもポルトガル語のほうが反応が大きいこともあり、子どもなりに違いを感じ取っていると思います。妻の実家に行くときは、日本語で話して、日本の文化に触れる機会を大切にしています。先日はお食い初めもしましたよ。

私は子どもたちに両方の文化を知ってほしいと考えています。異なる文化に触れることで、視野が広がり、将来の選択肢も増えるはず。家庭の中で、自然に多文化を感じられる環境をつくることを心がけています。

豊田市でお子さんを連れて出かける場所は？

鞍ヶ池公園はとても気に入っています。子どもがたくさんいますし、居心地のよい雰囲気だと感じます。他にも豊田スタジアム、豊田地域文化広場や、自然が好きなので豊田の山間部にドライブに行ったりもします。

パパ同士の交流はありますか？

ラジオで共演している大前りょうすけさんとよく話をします。大前さんはうちの子より半年年上の子どがいて、子育てに関するアドバイスをもらっています。子どもが泣き止まない時に、ボス・ベイビーの曲がいいよと教えてくれました。ボス・ベイビーの曲を流したら本当に子どもが泣きやんだんですよ（笑）

情報の共有や相談できる人がいるだけで、育児って少しでも気持ちが楽になるというのはすごく感じました。大前さんの話を参考にしながら、半年後にはうちの子がこれくらい成長するんだと想像しています。



仕事と育児の両立をどのようにしていますか？

私の仕事は勤務時間が決まっておらず、出勤や帰宅の時間が日によって異なります。そのため、妻とは日々スケジュールを共有し、コミュニケーションを大切にしています。家事の役割分担はせず、夫婦でやれる方がやるとしていますが、料理は私がよく作ります。出勤前に離乳食を作ったり、保育園の送迎をして、夜は子どもたちが起きている時間に帰れるよう意識しています。子どもが寝ているときに仕事のメールを返したりして、子どもといるときは極力携帯を触らないようしています。

母親に比べれば、圧倒的に子どもという時間が少ないので、子どもといるときは子どもと向き合って、自分ができることをやろうと考えています。

これから育児にどう携わっていきますか？

育児に関して、男性はつい「何か手伝おうか？」と言ってしまいがち。でもその言葉には、「育児は母親がやるもの」という前提が含まれているように感じます。「参加する」「手伝う」ではなく、妻と一緒に育児するという意識を持っていきたいと思っています。大変な時もあるけど、それ以上に子どもとの時間を楽しみ、大切にしていきたいです。

ヴィトルさんも大好き

簡単！家事応援コーナー

ブラジル発祥の「ボンデケージョ」を作ってみよう！



ボンデケージョをポルトガル語で表記すると Pão de queijo となります。Pãoはパン、deは英語のof、queijoはチーズという意味なので、直訳すると「チーズのパン」です。独特のもちもち食感はこの「タピオカ粉（キャッサバ粉）」を使用することによって生まれます。発酵時間不要！混ぜて丸めて、焼いてアツアツの間に食べたい！もちもちボンデケージョのレシピです。

- ・混ぜるだけでカンタン！
- ・見た目がかわいい♡
- ・食感がよく食べ応えも！
- ・モチモチでおいしい◎



材料(20個分)

☆牛乳	120cc
☆水	100cc
☆オリーブ油	10cc
◎タピオカ粉	200g
◎塩	2g
△粉チーズ	70g
△卵	1個

【下準備】

- ☆…鍋に牛乳、水、オリーブ油を入れる。
- ◎…ボウルにタピオカ粉、塩を入れる。
- △…容器に粉チーズ、卵を入れ混ぜておく。

【作り方】

- ① ☆を加熱し沸騰直前で止め、◎に入れ混ぜる。さらに△を加え、混ぜ合わせる。
- ② ビニール袋に移し、粉っぽさがなくなり全体がひとまとまりになるまでこねる。
- ③ 20等分し成形した後、190℃に余熱したオーブンで、約20分焼き色をみながら焼く。

★完成★



まぜまぜ



こねこね



アツアツ〜